

ならの希少な生きものを守ろう

～奈良県希少野生動植物の保護に関する条例～



奈良盆地の棚田



ヤイロチヨウ



キレンゲショウマ



オオナンバンギセル



曾爾高原 お亀池

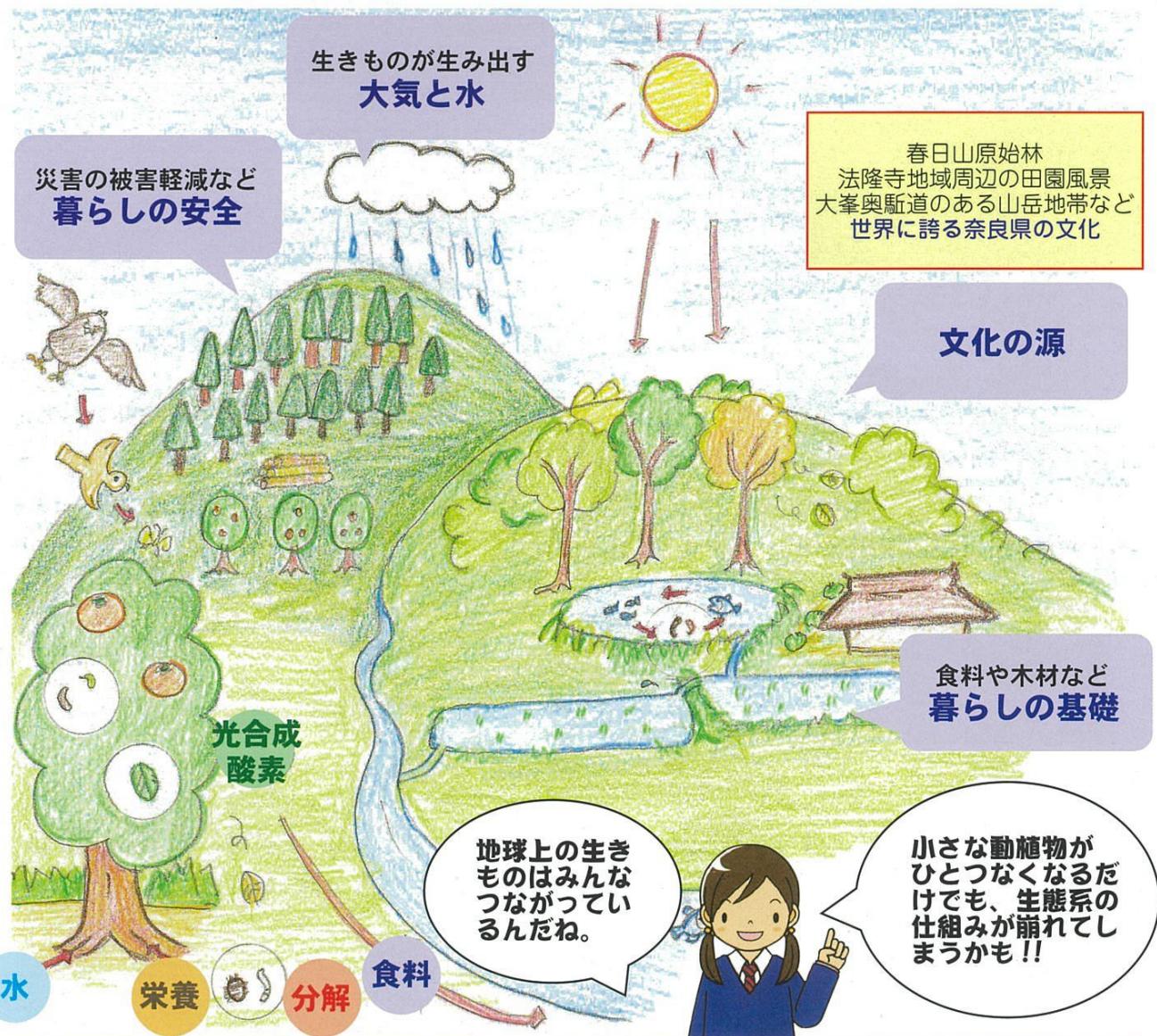
田んぼやたぬきでは、カエルやゲンゴロウの姿が消え、野山では、可憐な花をつける草花が根こそぎ引き抜かれて、山からなくなってしまう。

昔どおりの豊かな自然に見えるけれど、実は私たちをとりまく自然は、ものすごいスピードで変わっているのです。

なぜ希少野生動植物の保護が必要なのでしょうか？

人間を含めたすべての生きものは、お互いに関わりあいながら、生態系といわれる仕組みでつながっています。

その仕組みの中で、人間は、多くの恵みを受けているので、生態系のバランスが崩れると、私たちの暮らしにも大きな影響が出てきます。



私たちが健康で安心して暮らしていくためにも、多種多様な野生動植物が生きている、バランスのとれた生態系を維持していくことがとても大切です。

【豆知識 1 生態系とは】

すべての生きものは、お互いに食べたり食べられたりといった関係や、光、水、大気等を利用する関係など、周りの生きものや環境と関わり合いながら、ひとつのまとまった仕組みと働き（システム）をつくっています。
このシステムを生態系といいます。

奈良県における野生動植物の現況

県内での生息確認種数 約 9,000 種
うち 希少野生動植物 1,114 種 (12%)
うち 絶滅寸前種 290 種
(奈良県版レッドデータブックから)

絶滅寸前種の例

絶滅しそうな生きものがこんなにもいるよ!



オオヤマレンゲ



ニッポンバラタナゴ



オオウラギンヒョウモン



オオミネコザクラ



ナゴヤダルマガエル



ブッポウソウ

奈良県の特徴

①北方系の動植物と南方系の動植物の分布が重なる地域

②低地から近畿最高峰(八経ヶ岳)まで大きな標高差

③希少野生動植物の占める割合が大

全国 8% 奈良県 12%

特色ある生息・生育環境

【豆知識2 奈良県版レッドデータブック】

奈良県に生息・生育する絶滅のおそれのある野生動植物のリストや、それが減少した要因を取りまとめた報告書。平成18年に脊椎動物編、平成20年に植物・昆虫類編を発刊しています。

本書内では、絶滅のおそれのある野生動植物（希少野生動植物）を、

「絶滅種」
「絶滅寸前種」
「絶滅危惧種」
「希少種」
「情報不足種」

に区分しています。

奈良県版レッドデータブック
購入のお問い合わせ先
奈良県庁東棟1階
県政情報センター
TEL:0742-27-8348

